

# 新型コロナウイルス対策を徹底し安全供給



## インフラ各社対策徹底

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、暮らしを支えるガスや電力、交通といったインフラ事業者が、安定供給や運行を担う社員の感染防止対策を強化している。感染者が出た場合、濃厚接触した同僚も含めて出勤できなくなる恐れがあり、業務への支障が大きいからだ。終息時期が見通せず、気が抜けない状況が続く。

(鈴木啓紀、山田晃史、伊藤弘喜、小西数紀)

# 命綱も我が身も守る

## 検温や換気 日報で管理

◇…ガス◇

県西部でガス事業を展開するサトーエナジー（愛知県豊橋市）は、二〇一五年に策定した「新型コロナウイルス感染症等対策に関する業務計画」に基づき、二月末に対策本部を設置した。

社員は体温測定で三七・五度以上だった場合、出勤停止に。政府から緊急事態宣言が発令されたり、社内で新型コロナウイルスの感染が拡大したりした時は、ガス供給に必要な業務に人員を集中させ、検針や営業といった業務は縮小する。

◇…交通◇

LPガス販売のエネジソン（浜松市中区）は、体温や手洗い、換気をした時間を記入する衛生管理日報を二月下旬からつけ始めた。従業員は毎朝、自宅でも体温を測り、出勤後に記入する。三十七度以上の熱がある場合は出社停止にする。

仮に新型コロナウイルスの感染者が出た場合は、濃厚接触者も休ませる。その後の運行方針は「休業者の数など状況を踏まえて判断していく」（同社）としている。

JR東海は、二〇〇九年の新型コロナウイルス流行を機に策定した事業継続計画（BCP）を採用する。社員に感染者が出た場合でも運行を継続するため、業務の優先順位や要員確保のための考え方を規定。金子慎社長は十日の定例記者会見で「現業職場などでは管理者が家族も含めて健康状態を確認し、何かあれば手配が取れる態勢を整えている」と説明した。

◇…電力◇

中部電力は、電力需要に合わせて発電量を調節する「中央給電指令所（中給）」の指令室に、関係者以外が不要不急

な出入りをしないよう徹底。中給や、電力設備を監視・制御する「基幹給電制御所」で勤務する社員に感染者が出た場合のバックアップ態勢もあらためて確認した。

これらの職場では通常、昼夜勤務の二交代制を五班で回している。社内に感染者が出るといった場合は、一班を予備班として自宅待機にし、残り四班の人員に感染者が出た際にすぐに入れ替えられるようにする。幹部は「電力の安定供給が滞ってはいけない。かなり神経質になって対策を考えている」と話す。

皆様の日常を守り、支えます！  
新型コロナウイルスの感染拡大が危ぶまれる中、お客様のインフラを守るため、当社では、社員の感染防止策として衛生管理を徹底しています。  
体温計測、手洗い、換気をした時間、ハンカチ所持の有無などの記録を毎日実施しています。  
地域の皆様が、安心して生活できますように、安定供給に努めてまいります。

令和2年(2020年)3月20日(金)

中日新聞掲載